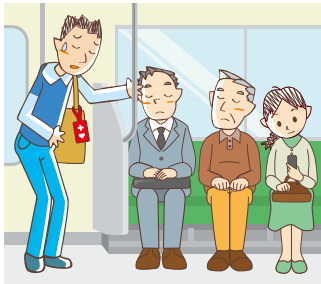


身体の中に障がいのある人(内部障がい)・難病の人のことを知ろう

内部障がいは、肢体不自由以外の身体の内側の障がいで、心臓機能、腎臓機能、呼吸機能、膀胱、直腸機能、小腸機能、肝臓機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能のいずれかの障がいにより、日常生活に支障が生じている状態をいいます。

また、難病とは、原因が不明で治療法が確立していない長期の療養を必要とする病気のことをいいます。

こんなことに困っています…



● 外見では分かりにくいので、電車やバスの優先席にすわっても理解されないなど、心理的ストレスを受けやすい状況です。



● 障がいのある臓器だけでなく、全身の機能が低下しているため、体力がなく、疲れやすい状況にあり、重い荷物を持ちたり、長時間立っているなど、身体的負担を伴う行動が制限されます。



● 人工膀胱や人工肛門を使用している人(オストメイト)は、専用のトイレを必要とするため、通常のトイレでは不便に感じることがあります。



● 呼吸器に障がいのある人の中にはタバコの煙が苦しい人もいます。

※P13 バリアフリートイレについてを参照

わたしたちができることは？

◆ 心臓機能障がいで心臓ペースメーカーが入っている人は、携帯電話・スマートフォンから発せられる電磁波などの影響を受けると誤作動する恐れがありますので、優先席の近くでは携帯電話・スマートフォンの電源を切りましょう。



◆ 外見からは分かりにくいので、電車やバスで立っているのがつらそうな人がいたら、進んで席を譲りましょう。



◆ 体力が落ちていて感染症にかかりやすいので、風邪などをひいているときは、うつさないように気をつけましょう。



◆ バリアフリートイレを必要としている人がいつでも使えるように、一般のトイレを使用できる人は、できるだけバリアフリートイレを使用しないようにしましょう。



◆ 内部障がいがあると分かるマーク(ヘルプマーク)を付けている人に配慮しましょう。

